

姫カツ(姫路市中学生スポーツ・文化芸術活動)

水泳競技 実証事業

事業報告

令和6年(2024年)3月  
姫路市教育委員会 健康教育課

# 姫カツ 実証事業 水泳競技

安室中

高丘中

大白書中

山陽中

部活動  
所属以外  
の生徒



灘中

飾磨東中

飾磨西中

朝日中

## 【課題】

- ・ 専門指導ができる教員が減少
- ・ 冬場の活動場所の確保
- ・ 部活動数の減少と部活動所属以外(スイミングスクール)の生徒増加
- ・ 大会引率教員の負担 ↔ 競技役員の確保

## 【土台・強み】

- ・ 中体連と競技団体（水泳協会）との連携体制
- ・ 長年、市内中学校で合同練習を実施
- ・ 民間施設の貸切使用

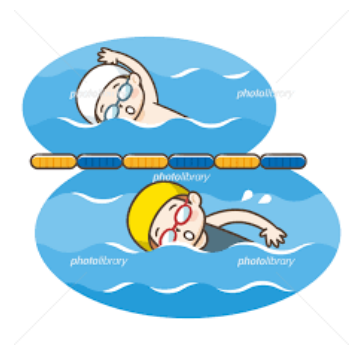
# 姫カツ 実証事業 水泳競技

学校部活動の【土台・強み】を活かして、  
地域（学校管理外の活動＝姫カツ）に移行することにより【課題】を解決し、  
競技の普及や生徒の活動の充実につなげる



## 姫路市中学生スポーツ・文化芸術クラブ活動(姫カツ)

- 〈運営主体〉 姫路市・姫路市教育委員会
- 〈実施主体〉 姫路水泳協会
- 〈活動日〉 令和5年10月から令和6年1月末までの日曜日（全8回実施予定）
- 〈活動場所〉 JSS姫路（姫路市東延末2丁目65番地）
- 〈活動内容〉 参加を希望する生徒による学校の枠を超えた合同の活動  
個々のレベルやニーズに合わせた活動
- 〈指導者〉 姫路市水泳協会派遣の専門指導者による指導（複数体制）
- 〈教職員〉 指導を希望する教職員が水泳協会員として指導に参加（兼職兼業）  
引率を行わないことによる休日部活動の負担の削減



# 姫カツ 実証事業 水泳競技

【参加生徒】 84名（16校）

【参加指導者】 13名（うち水泳部顧問4名）

【おもな予算】 ※スポーツ庁委託事業

- ・ 指導者謝金（1500円/h）
- ・ 施設使用料
- ・ スポーツ安全保険(生徒・指導者)
- ・ 消耗品

【運営上の工夫】

- ・ 連絡用アプリ（Sgrum）の活用
- ・ 中学校水泳部顧問との情報共有
- ・ 競技力別での練習
- ・ 複数体制での指導（4名×2グループ）



令和5年10月30日(月)神戸新聞

## 姫カツ



# 【令和5年度の活動状況】

回	日付	参加者数	指導者	時間	会場
1	10月29日(日)	67名	10名	<b>【Aグループ(発展)】</b> 8:00~10:00  <b>【Bグループ(基礎)】</b> 10:00~12:00	JSS姫路
2	11月12日(日)	65名	11名		
3	11月26日(日)	54名	8名		
4	12月10日(日)	57名	8名		
5	12月17日(日)	48名	7名		
6	12月24日(日)	45名	9名		
7	1月14日(日)	51名	6名		
8	1月28日(日)	58名	7名		



# 〈事後アンケート調査〉

## 1 調査目的

今年度、全8回実施した本事業における成果と課題を検証し、今後、本市で展開拡大を目指す新たな地域クラブ活動（姫カツ）の持続可能な体制等を構築するため。

## 2 調査対象

- (1) 参加生徒
- (2) 保護者
- (3) 姫カツ水泳競技指導者
- (4) 参加校の水泳部顧問（7校）

※指導者として参加した(兼職兼業の許可を受けた)教職員は除く

## 3 調査方法

Microsoftフォームによるオンライン調査

## 4 回答期間

令和6年1月28日（日）～2月5日（月）

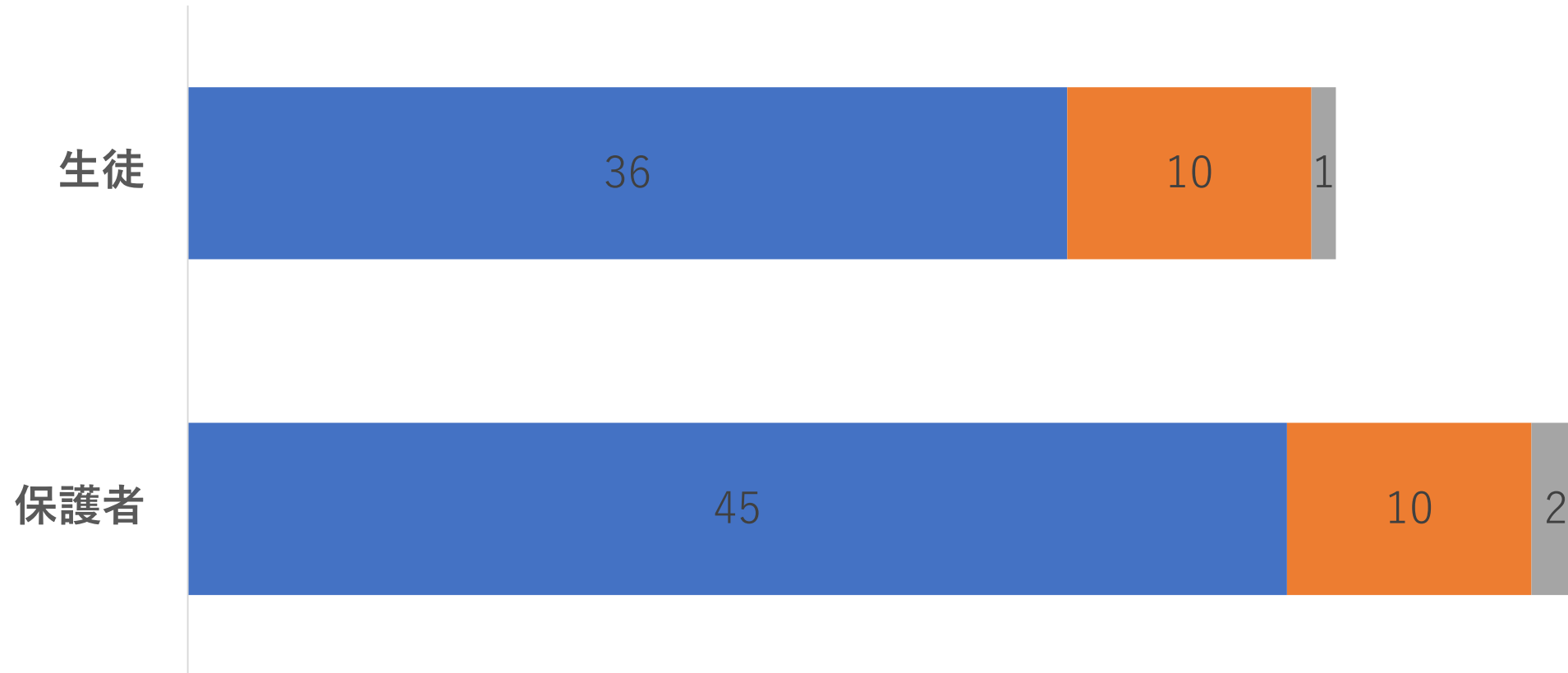
## 5 回答数

- (1) 参加生徒：47名（回答率57%）
- (2) 保護者：57名（回答率69%）
- (3) 指導者：11名
- (4) 参加校の水泳部顧問：10名

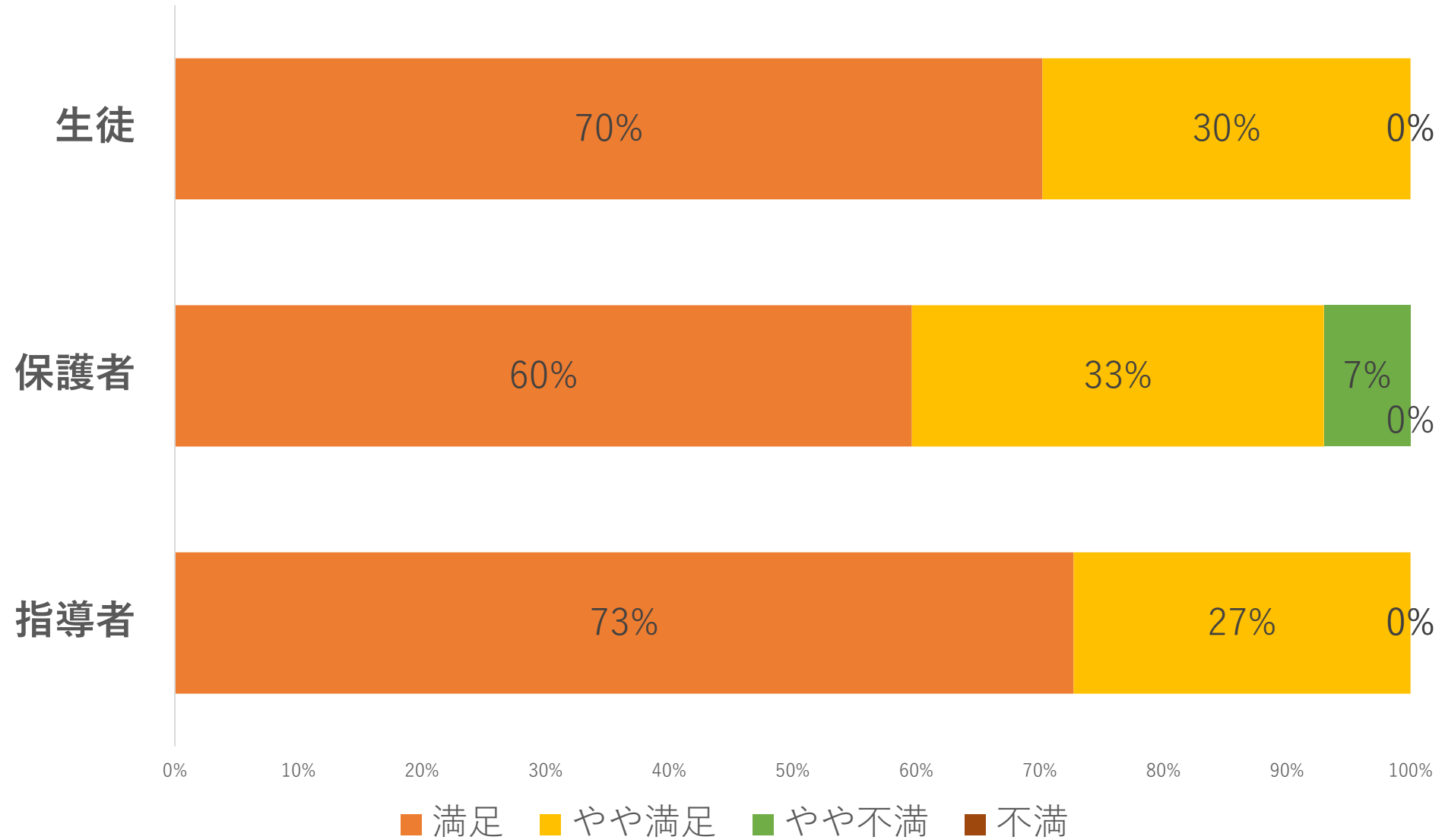
# 〈調査結果〉

## 普段の水泳の活動状況

■ 学校部活動を中心に活動 ■ スイミングスクール(クラブ)を中心に活動 ■ その他

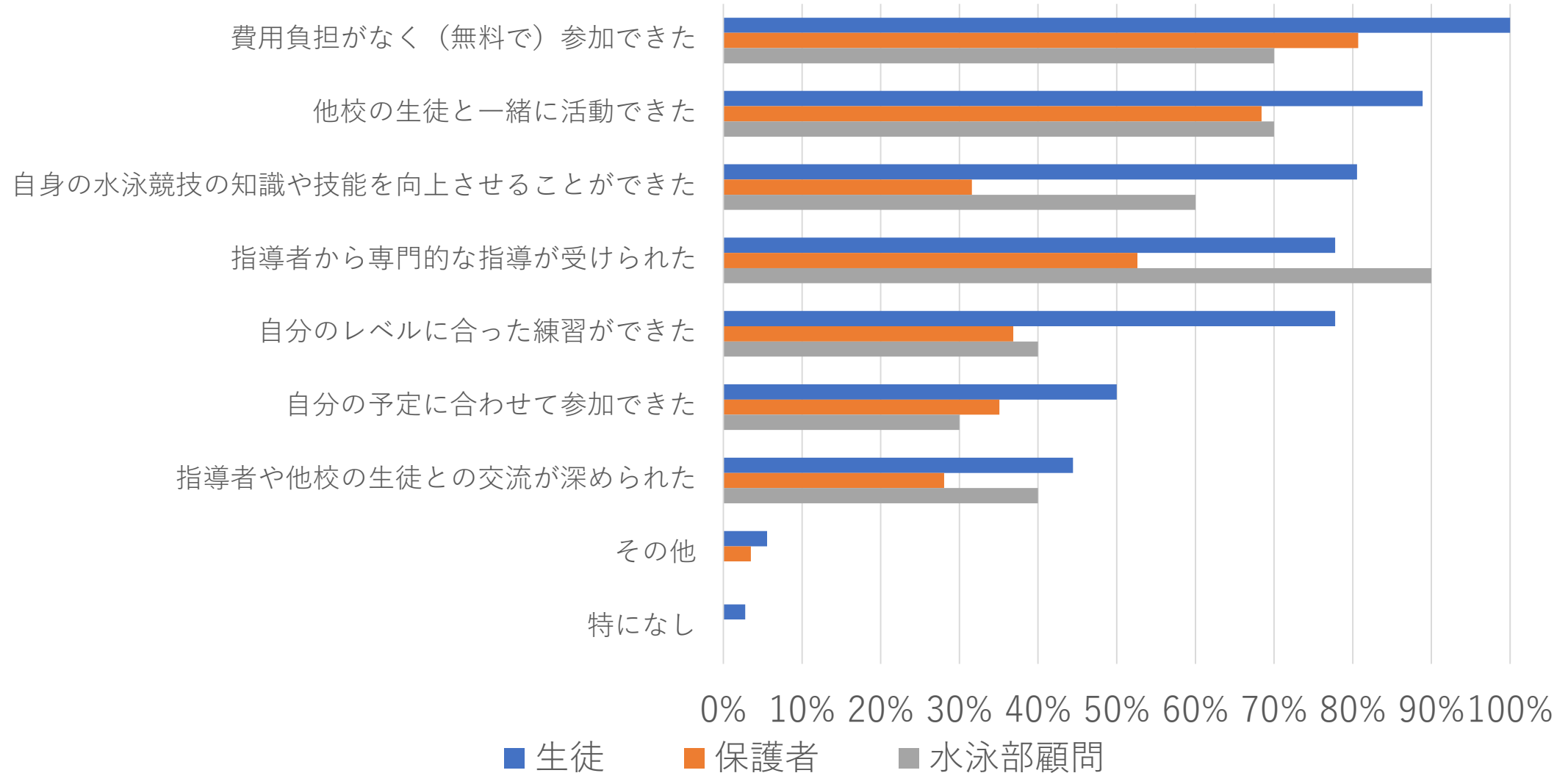


# 今回の姫カツ水泳競技の活動に満足していますか？

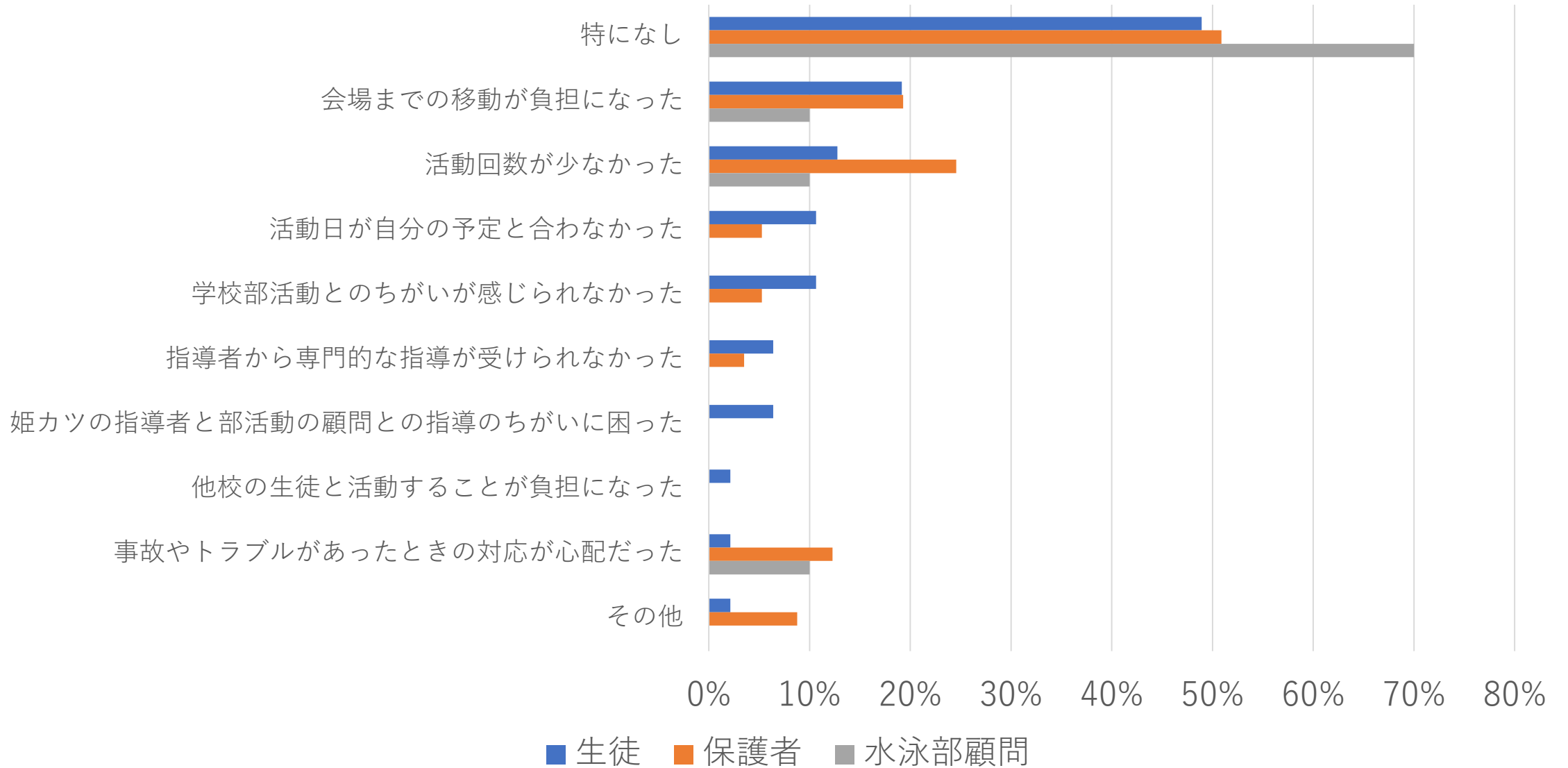




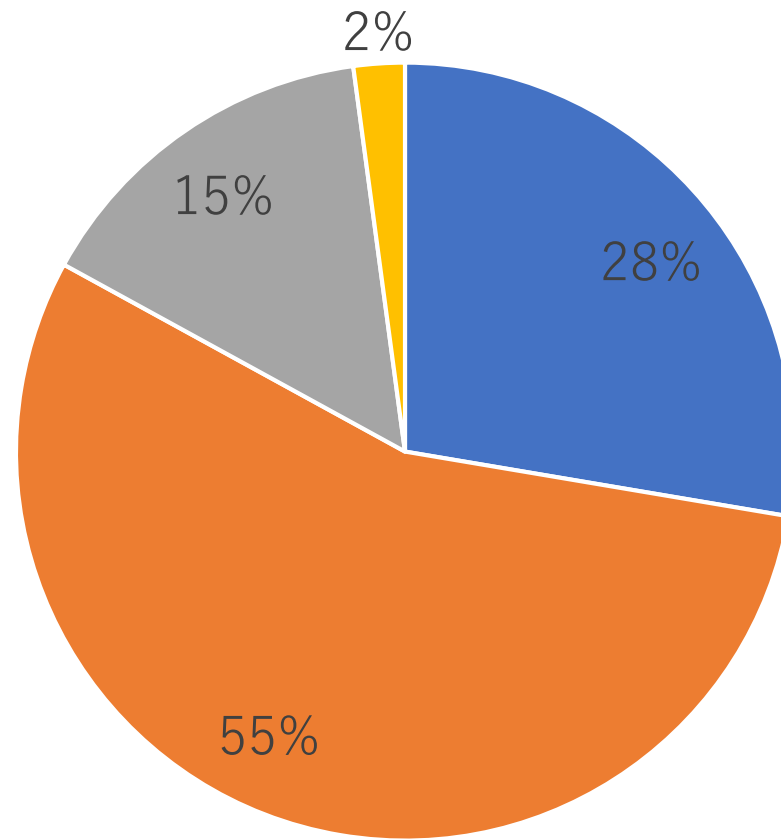
## 活動に参加して、良かったと思うこと（複数選択）



## 活動に参加して、不満や課題と思ったこと（複数選択）

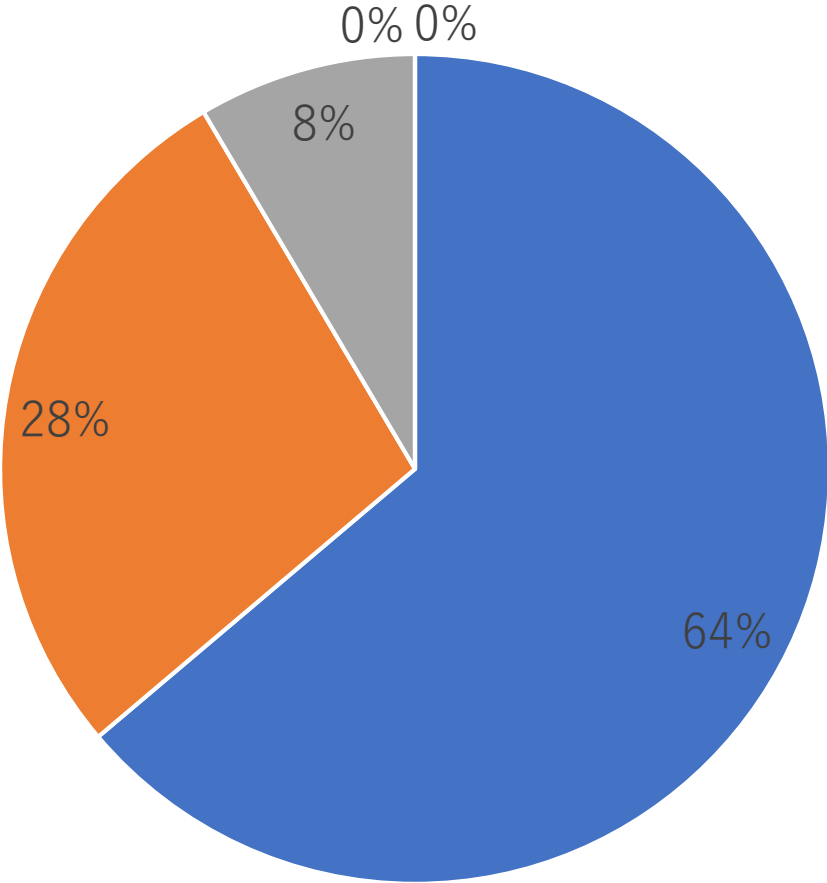


## 姫カツへの参加回数（生徒）



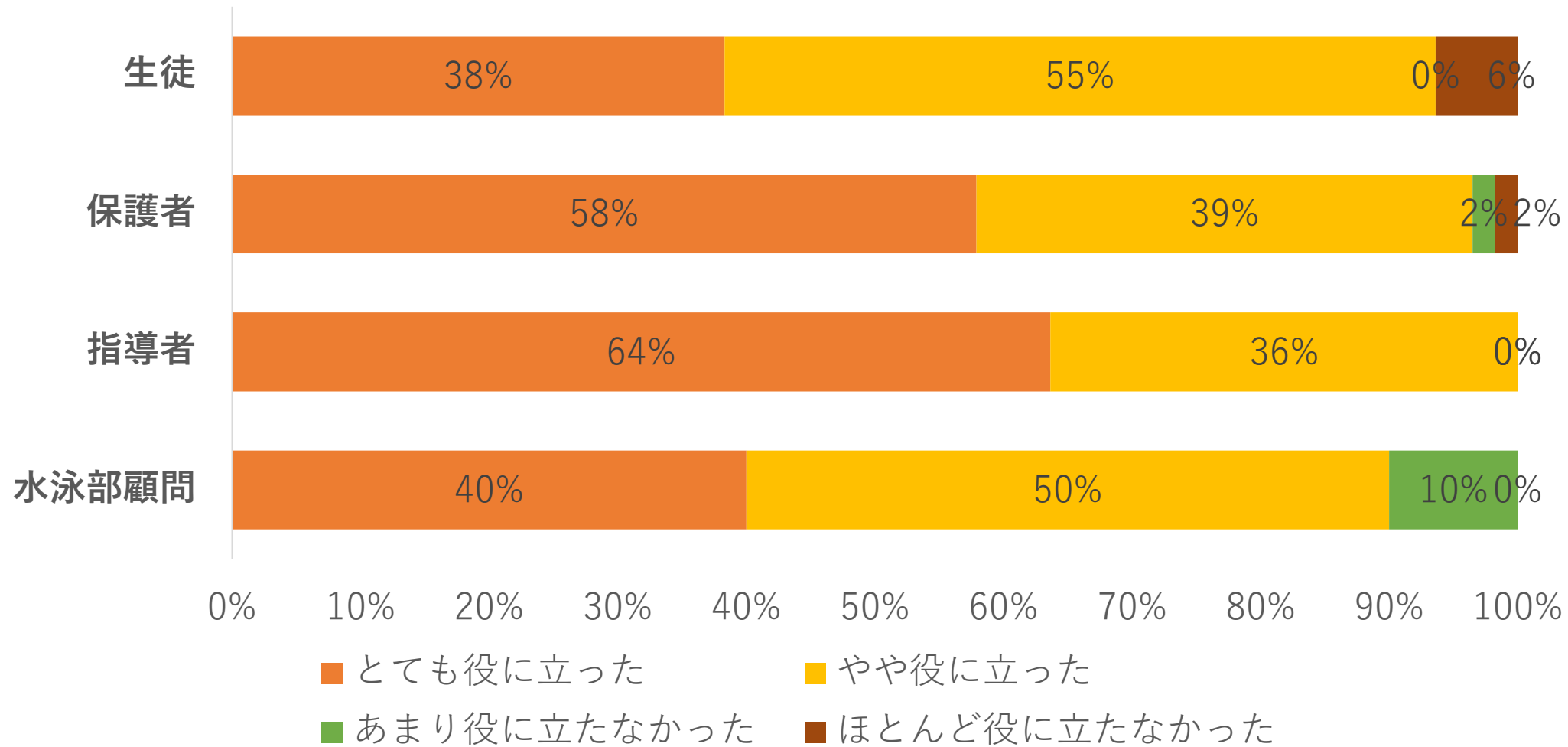
■ 毎回（8回） ■ 5～7回 ■ 2～4回 ■ 0～1回

# 会場(JSS姫路) までのおもな移動手段 (生徒)

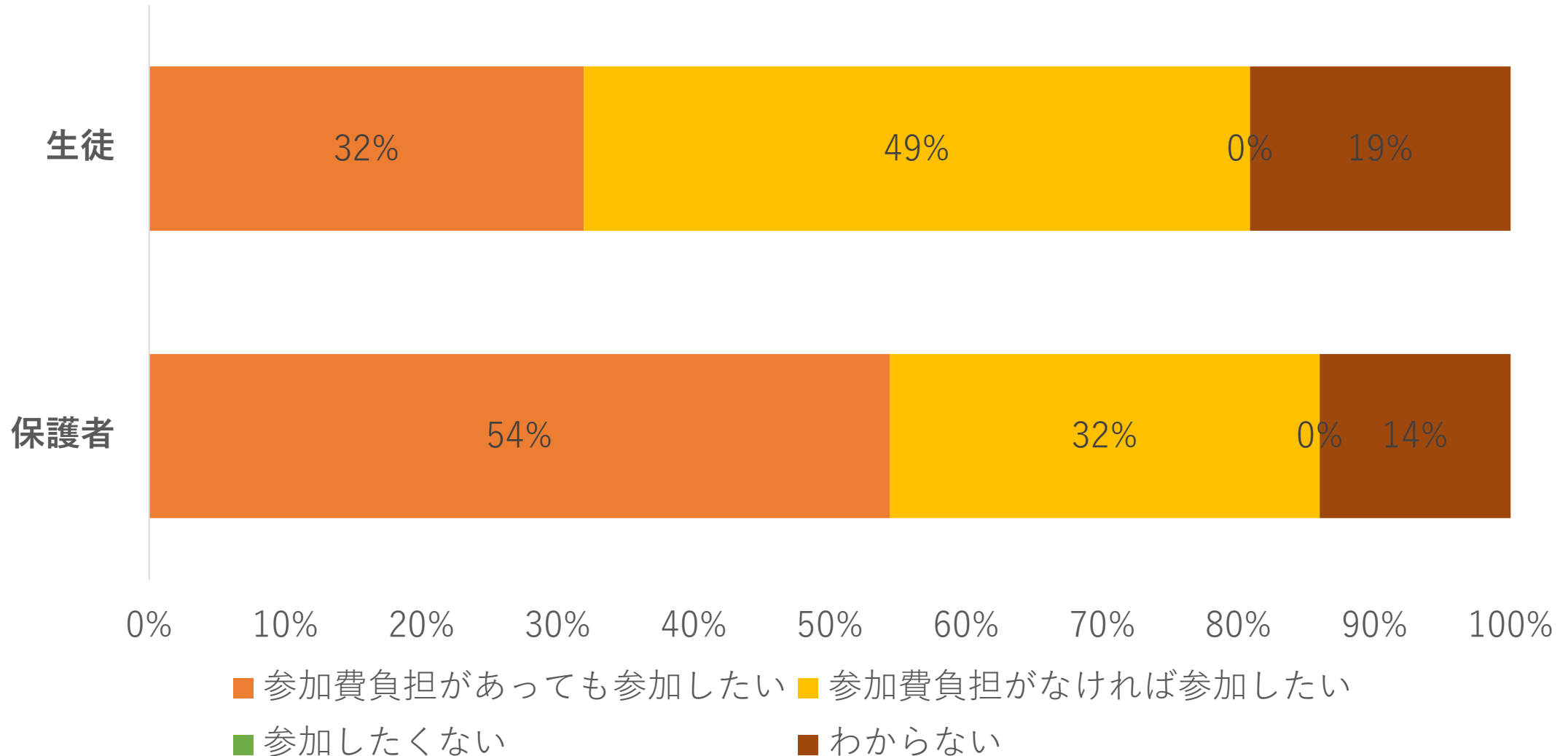


■ 自転車 ■ 保護者の送迎 ■ 電車・バス ■ 徒歩 ■ その他

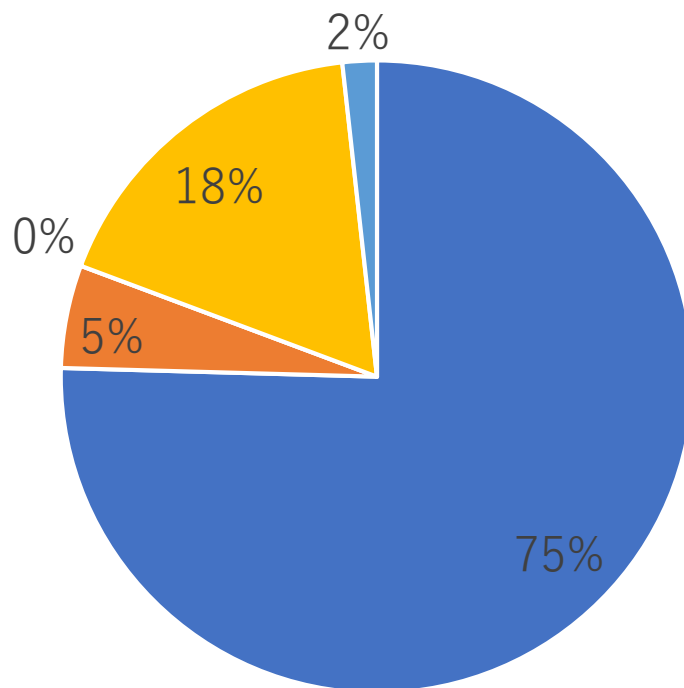
## 専用アプリ（スグラム）を活用した連絡や情報共有は役に立ちましたか。



## 来年度も姫カツに参加したいと思うか。

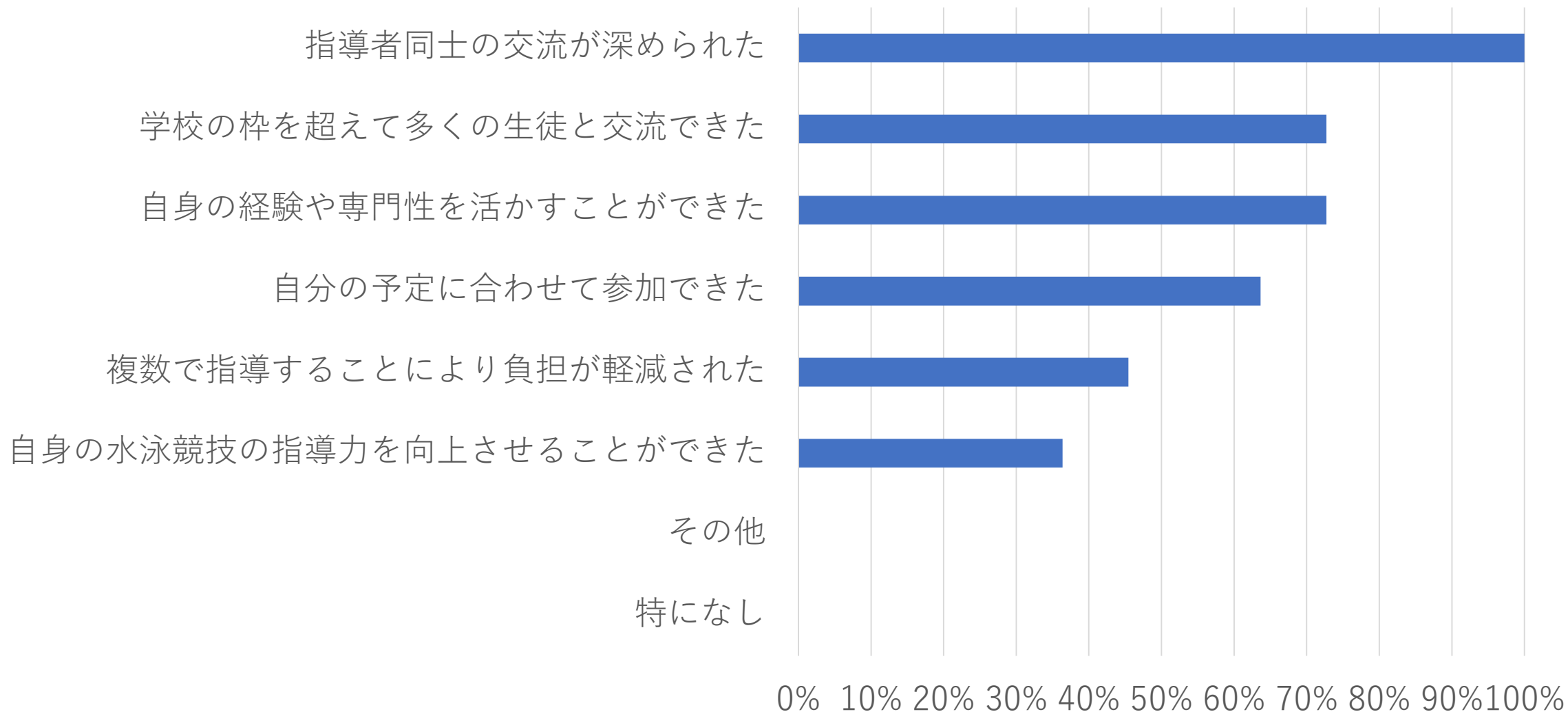


今年度と同様の内容で姫カツを実施する場合、  
1回あたりで負担してもよい金額（保護者）



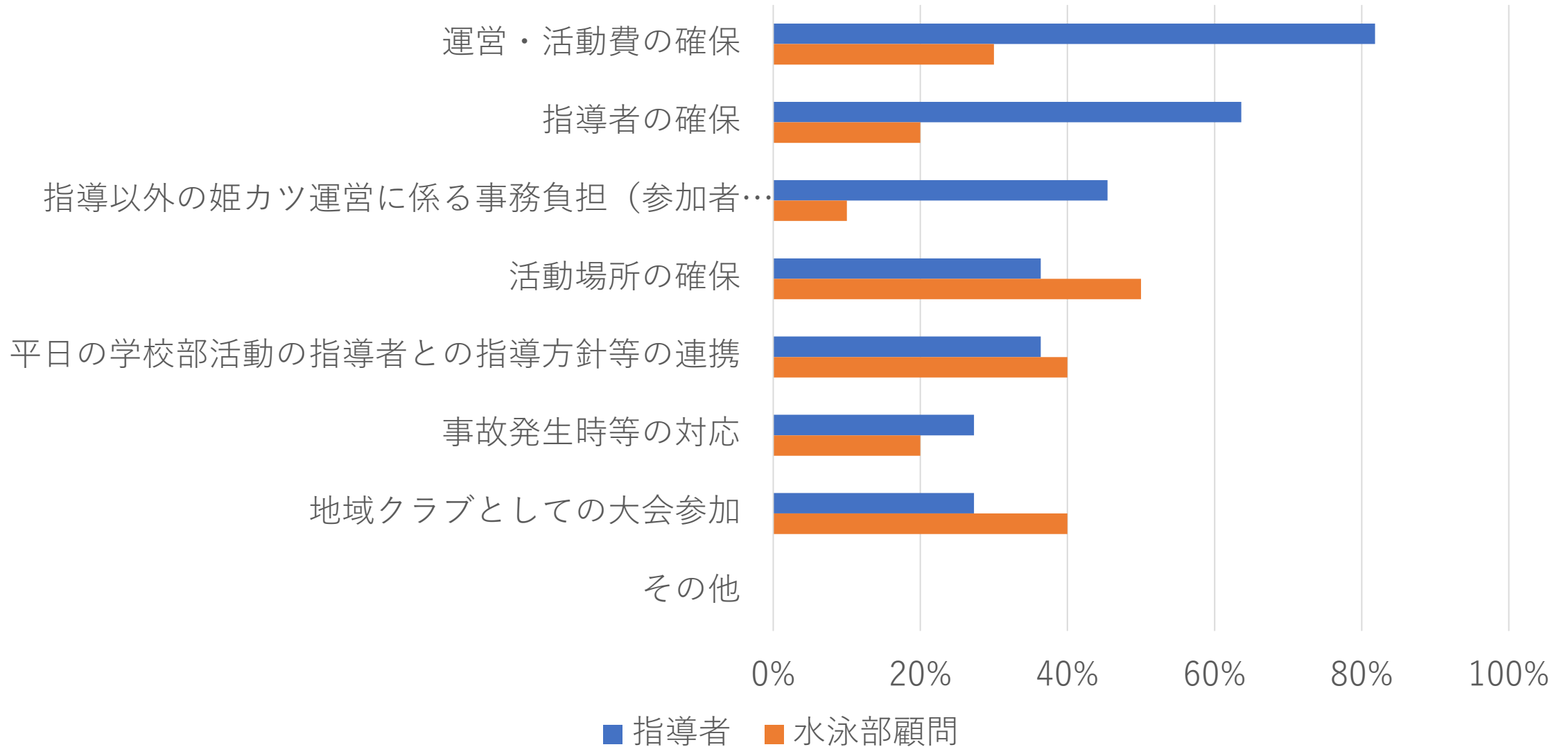
- 1回あたり5000円程度まで
- 1回あたり10000円程度まで
- 1回あたり20000円程度まで
- 負担はできない・したくない
- その他

## 指導者として姫カツに参加して、良かったと思うこと





## 姫カツ水泳競技を今後継続させるための課題



## 自由記述（抜粋）

### 【生徒】

- 違う中学校の人達と競い合えて楽しかったです。
- 今まで自分は、水泳クラブを中心に活動していたので、他の学校の人と一緒に泳ぐのが新鮮で楽しかったです。
- メニューがしんどかったけど、同じレーンになった子と大会で会ったら話すくらい仲良くなれました。指導も自分じゃ気付けない事を教えてくれたので良かったです。
- 同じぐらいのレベルの人がいて、いつもより早く泳げた
- 新しい友達が沢山できて楽しかったです
- 冬でも長い距離を泳げて冬でも記録を伸ばせた
- 体力がついて泳ぎ方が綺麗になったので良かったです
- 全体的に楽しかったし、指導者の優しい人が多いので気楽に練習できました。

## 自由記述（抜粋）

### 【保護者】

- 無料というのが申し訳ない気持ちでいっぱいでした。寒い間も泳ぐことができ本人のモチベーション維持に繋がり、よりレベルの高い生徒さんと泳げて向上心が高まりました。
- 子供は毎回とても楽しみに姫カツに出向いていました。環境が違うのか、学校の部活よりも楽しいとも言っていました。
- 他校の人との、横や縦の繋がりができ、試合で会うと嬉しかったと子どもが言っていました。水泳を通じて、頑張りあえる仲間が他校でも出来、他校の先生方とも出会えて、学校を超えてみんなで頑張っている気持ちになれて、参加して良かったと思いました。
- 来年度も是非参加させたく、また下の弟妹達も将来中学生になったら参加したいと夢んでいます。今後も活動継続して下さることを願っています。
- このような形で姫カツとして活動して頂き、中学での部活入っていないと言うのが少し気にならなくなったようなので参加させてもらえて良かったと思います。姫カツで活動したら水泳部(姫カツ)として、中学でも準部活扱いになればもっと有難いと思いました。

## 自由記述（抜粋）

### 【保護者】

- 姫路市が行う事なのに費用が発生することに理解し難い。普段から冬の部活動での練習時に施設利用料を負担しなければならない上に市が行う活動までとなると保護者の負担が大きすぎる。
- 費用が発生したら、行ける子と行けない子が出て、なぜ行かないのかなと言われたりイヤな思いをする子供が出てくるかもしれない。（中略）一回500円は高すぎます。交通費を入れると1000円は超えてしまいます。なるべく費用負担を負担に感じない値段にしてほしい。
- 会場が自宅から遠く、送迎が負担になった。
- 各学校でスクールまでの移動の仕方を管理してほしい。行き方が自由なので自転車で1人で行かないといけない事もあり事故等心配だし起きた場合どうすれば良いのか等指導してほしい。
- ネット連絡をうまく活用できませんでした。

# 自由記述（抜粋）

## 【指導者】

○スポーツは継続性が重要だと考えます。選手確保・指導者育成・運営の在り方・活動費の充実などバランス良く行われる事を願います。

皆で知恵を出し合い子供達に最も良い環境を確保出来ればと考えます。

○初めての試みでしたので、回数につれて徐々に出来上がってきたものと感じました。

アプリが使いにくかったことと、先生方での連絡もアプリで一本化できればと思いました。

○来年度は、水泳部であるかどうかを越えて、試合に出場できるようになればいいなと思います。

少しの負担で、一年間継続して活動できればいいなと思います。

○学校の部活動だけだと、専門的に教えることができる教師が少なく水泳の指導が行き届かないところがありますが、姫カツでは水泳専門の先生方に教えていただけるので、生徒も高い意識をもって練習に参加できていました。

○姫水協からの参加者と中体連の水泳部顧問の先生との関係もでき、生徒も普段と違った指導も受けられるので良かったと思います。

# 姫カツ 水泳競技 実証事業(令和5年度)

## 【成果】

- ・水泳部以外の生徒も参加することができ、学校を超えた交流や、生徒の活動機会を確保できた。
- ・冬期の練習場所の確保や、競技力の向上につながった。
- ・13名の指導者を確保でき、指導体制が充実し、指導者の負担も軽減された。
- ・様々な方が参加することで、生徒と指導者、指導者同士の交流を深めることができた。
- ・専用アプリ（Sgrum）を活用し、連絡、出欠確認、情報共有を効率的に行うことができた。
- ・水泳部顧問の学校業務の改善につながった。

## 【課題】

- ・持続可能な運営体制の構築と保護者負担への配慮 ※あくまでも移行するための実証事業  
⇒ **移行後は受益者負担など自走による運営ができる体制づくり**（行政の補助のあり方）
- ・「指導」と「運営」の役割分担 ⇒ 運営事務局の設立や委託、コーディネーターの配置
- ・事故やトラブルへの対応 ⇒ 指導者研修会や情報交換会の実施
- ・活動場所の確保 ⇒ 学校、市施設、民間施設などの活用
- ・活動のさらなる充実 ⇒ 目標設定や成果発表の場、トレーニング講習など